

日本IBM
福島氏（東大准教授）らに科学賞
 物理など4分野4氏

日本IBMは10日、優れた若手研究者を表彰する第23回「日本IBM科学賞」を福島孝治東京大学大学院総合文化研究科准教授（40）ら4人に授



福島氏

与すると発表した。同社の箱崎本社（東京都中央区）で27日に授賞式と講演会を開き、各受賞者にそれぞれ賞金300万円と賞状、メダルを贈る。



大越氏

日本IBM科学賞は基礎研究の振興と若手研究者の育成を目的に87年に創設。国内の大学や公的研究機関に所属する45歳以下の研究者を対象に、



上田氏

物理、化学、コンピュータ・サイエンス、エレクトロニクスの4分野で顕著な成果を表彰する。審査委員は江崎玲於奈茨城県科学技術振興財団理事長ら7人。受賞者とその研究業績は次の通り。



染谷氏

【物理分野】福島孝治 東大大学院総合文化研究科准教授「交換モンテカルロ法の創出と展開」
 【化学分野】大越慎一

東大大学院理学系研究科化学専攻教授（43）「磁気化学を基盤とした新たな磁性体の創出」
 【コンピュータ・サイエンス分野】上田泰己 理化学研究所発生・再生科学総合研究センターシステムバイオロジー研究プロジェクトリーダー（33）「大容量生命情報解析に根ざしたシステム生物学の開拓」
 【エレクトロニクス分野】染谷隆夫 東大大学院工学系研究科電気系工学専攻教授（40）「有機トランジスタ技術の開拓と柔軟なエレクトロニクス機能素子・回路への展開」